

心の栄養剤N o 70 「成人式の話」

いつからだろう。成人の日が来ると、全国あちこちの式典会場でステージに上がって暴れたり、会場の外で酒を飲んだり、式の間中ずっとおしゃべりをしている新成人が大きな社会問題になった。

今年も出席者は、やっぱり成人式らしく女の子たちの着物姿は豪華絢爛、男の子も原色の派手な紋付袴を着たり、スーツ姿の子らも奇抜なヘアスタイルをバッチリ決めていたが・・・

「それはそれは話を聞く態度がとてもひどかった」という話が出てきた。なるほど、酒を飲んだり暴れたりする新成人はほとんどいなくなったが、大人の話をつんぞり返って聞いていたり、ずっとおしゃべりして聞いていない光景が目立った。

集団の中にいると「自分一人くらいは・・・」と軽い気持でつい隣の人とおしゃべりしてしまうことがある。しかし、みんなが同じ行動を取ると、結果的に会場は騒がしくなっていく。その態度が厳粛な式典の雰囲気壊していることに全く気が付いていないのだ。



20歳になる頃には最低限の常識や社会性が身についているはずなので、成人式でわざわざ大人になることの意味を教える必要もなく、成人式は本来大人になったことをお祝いする場だった。だから、喫煙や飲酒や選挙権など「やっていいこと」「できること」を彼らに与えた。

ところが高度経済成長と、その後のバブル経済の時代、私たちはあまりにも忙しくて、先人たちが当然のようにやってきた「子供を大人にするという宿題」を忘れてきたように思う。それが今「非社会的」な子供たちの大量発生に見て取れるのではないだろうか。

でもそんな中いい話もある。成人式会場にクロネコヤマトの制服を着た若者が入ってきた。一日休むとトラック1台分の荷物の配達が一遅れる。人手も足りず、仕事を休むことができなかった。上司から「成人式には配達途中に行ってくれ。その服で堂々として行って来い」と言われたそうだ。

受付の人が「住所を書いて下さい。最後に記念写真を撮って送りますから」と言うと「いやあ、この格好だから記念写真は結構です」と断った。そのとき受付の女性が言った。

「何言ってるのよ！あなたが一番かっこいいですよ！」よくぞ言ってくれたと思う。そして、「あの子は聴く姿勢もよかったですよ」と話していた。出来上がってきた記念写真を見た。左端に写っていた緑色のジャンパー姿の若者が、誰よりもかっこよかった。

いい話の中の登場人物と自分を照らし合わせてみました！！

「その服で堂々として行って来い」と言った上司
「何言ってるのよ、あなたが一番かっこいいですよ」と言った受付の女性
そして、何より制服のまま会場に行った若者。

残念ながらこの三人の言動を、とても自分には出来ないだろうというのが正直な感想になり、反省し落ち込みました！！皆様はいかがでしょう？？

【今月の気づき】

出会いや出来事に対し本質を見誤らないように理解し
言動できるような大人になる！！

